

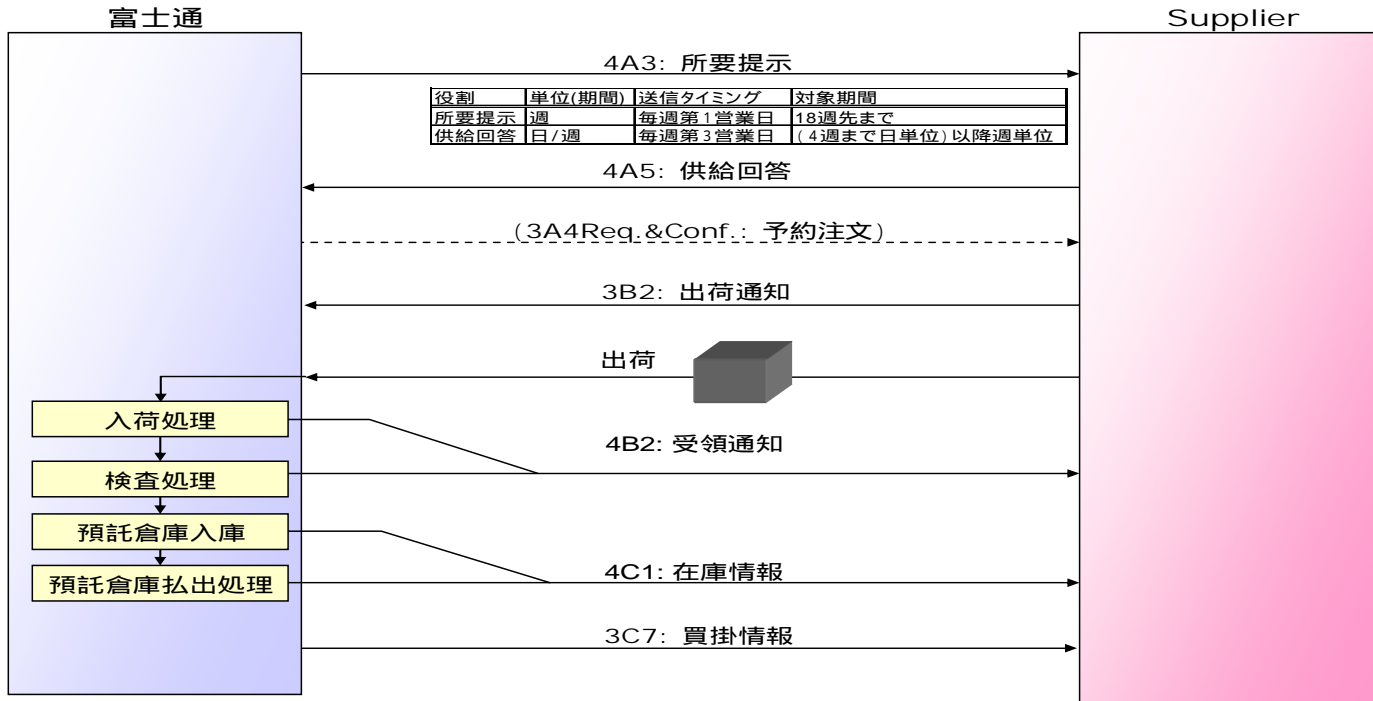


# 富士通 部品調達ビジネスモデル

RNJインプリメンテーションガイド@2004.04.01より抜粋・加工



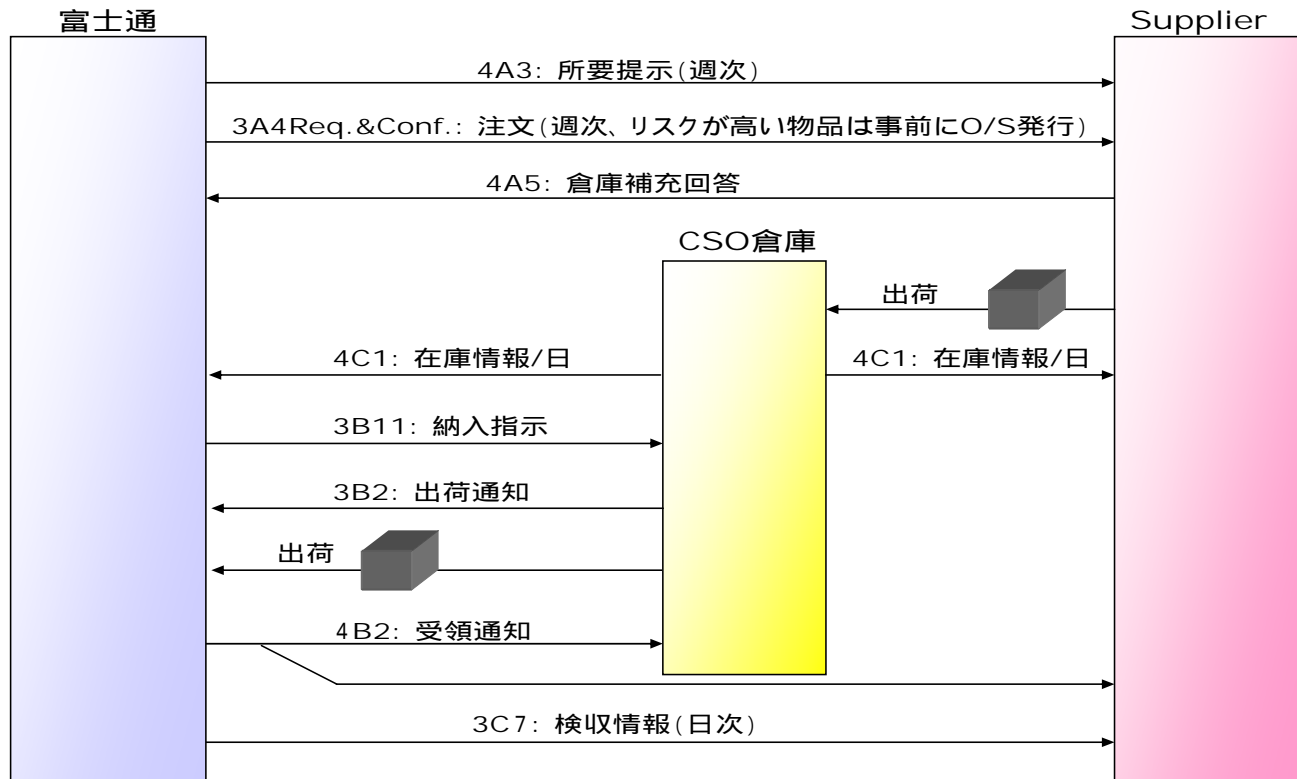
# 預託標準型業務モデル



基本的に汎用品のみを考慮しており、預託倉庫内の物品は発注者の資産だが検収手番の都合により入庫前に検査を行っている。



# CSO業務モデル



CSO (Collaborative Stock Operation) とは、富士通の所要提示(注文)に基づき、取引先が自社または第3者倉庫(取引先が契約)に一定量の在庫を保有し、富士通の納入指示により搬入する仕組みの名称である。預託標準型モデルが基本的に汎用品のみを考慮しているのに対し、CSOモデルでは汎用品以外にカスタム品の適用を考慮している。